

令和3年度
学校関係者評価書

延岡市立北浦中学校

延岡市立北浦中学校

令和4年2月

令和3年度 延岡市立北浦中学校 【学校関係者評価書】

【4：できている 3：だいたいできている 2：あまりできていない 1：できていない】

評価項目	評価指標	質問項目	職員	生徒	保護者	結果の考察・分析及び改善策等 (○：成果、●：課題、◎：改善策)	学校評議員コメント	評価
I 学習指導の充実に関する事	1 北浦中学校では、「学習指導の充実」が図られているか。	(1) 学校では、生徒の読解力の向上を意識しながら「分かりやすい授業」を行っていると思いますか。	3.2	3.1	2.5	○ 本年度タブレットが導入され、まずは逃げずに活用することに挑戦した。本年度は分かる授業を目指し、ICTを活用した研究授業を全職員で行った。教師、生徒共に活用スキルが高まった。 ● ICTを活用することが分かりやすい授業に直結しないことや使用することで余計な時間がかかること、集中力の低下につながるようになった。 ◎ 各教科で実践を積み重ねる中で、どの場面でICTを活用することが効果的であるか情報を蓄積し、改善していく必要がある。	○ 授業の場にいる生徒と教師がともに評価が高いことは素晴らしい。 ○ ICT活用については効果を慎重に考えて欲しい。ICT機器の操作方法については小学校と連携した指導が必要だと思う。	3.3
		(2) 学校では、見る、聞く、話す、書く、課題の提出などの基本的な学習習慣について指導していると思いますか。	3.1	3.3	2.9	○ 学習の基盤となる能力（見る、聞く、話す、書く）を育成するために、今何をやる時間なのかを生徒が理解できるように教師は明確な指示を出すことを意識した。生徒の授業態度は全体的には良好である。課題の提出については各教科において、期間を決めて徹底した指導ができた。ほとんどの生徒が提出することができる。 ● 字を丁寧に書く、しっかりと話を聞くなど基本的な学習習慣の定着が十分でない生徒を支援していく必要がある。 ◎ 態度の指導を継続しながら、実態に合わせて集中力を維持できるように授業内容を工夫する必要がある。	○ 基本的な学習習慣の定着を目指した取組の成果が出ている。しかし、一部、集中力のない生徒が心配。 ○ 基本的な教育は家庭で責任をもって指導すべきだと思う。 ○ 先生達が工夫して授業をしていることが伝わってきた。	3.3
		(3) 学校は、生徒が、自己の将来を考えられるようなキャリア教育(自分の人生を考える活動)を実施していると思いますか。	3.5	3.4	2.7	○ コロナ禍の中、感染対策を行いながら地域内外で活躍されている方々を講師に招き、生徒に講話をしていただいた。生徒は勤労・社会貢献・地域創生等について貴重な話を聞き、生徒の感想から自分の人生をどう生きるかについて考えることができた。 ● 現在の充実した活動を維持できるように、講師を確保することが課題である。 ◎ PTAや市教委と連携しながら生徒のキャリア教育を支えていく体制を固めていく。	○ キャリア教育は必要だと思う。 ○ 子供達が楽しく聞ける、興味をもって取り組める教育ができているのが素晴らしい。	3.7

令和3年度 延岡市立北浦中学校 【学校関係者評価書】

【4：できている 3：だいたいできている 2：あまりできていない 1：できていない】

評価項目	評価指標	質問項目	職員	生徒	保護者	結果の考察・分析及び改善策等 (○：成果、●：課題、◎：改善策)	学校評議員コメント	評価
Ⅱ 生徒指導・保健安全指導の充実に関すること	か2 北浦中学校では、「生徒指導・保健安全指導の充実」が図られている	(1) 学校は、基本的な生活習慣の育成（あいさつ、時間厳守、整理整頓など）や人間関係づくりについて指導していると思いますか。	3.2	3.4	3.0	○ アンケートの結果を見ると、基本的な生活習慣の定着に関する評価は高い。部活動生の校外外でのあいさつは素晴らしい。情報モラル教育は外部講師を招き積極的に行うことができた。 ● トイレや体調不良を理由に授業に遅れる生徒がいる。 ◎ 時間厳守や整理整頓の指導を根気強く継続して行っている。また、保護者に実情を伝え協力していただく。	○ 中学生のあいさつは地域では好評である。生徒の生活は全体的に落ち着いていると感じている。 ○ 基本的な生活習慣は家庭でもしっかり指導して欲しい。	3.7
		(2) 学校は、生徒が生徒会活動等を通して主体的に学校行事などに参加するように指導していると思いますか。	3.5	3.4	3.3	○ 体育大会、文化発表会、校則検討も生徒会を中心に生徒が主体的に活動できるように配慮した。文化発表会に高校に出演を依頼したことは好評だった。 ● 行事のたびに生徒会役員に大きな負担がかかることが課題である。 ◎ 行事の規模の縮小や内容を精選することで、生徒の負担感を軽減する。	○ 生徒中心の活動は達成感を味わわせる上で重要だと思う。 ○ 子供達が自立していくのに有効だと思う。	3.7
		(3) 学校は、危機管理能力の育成や食育の推進を行っていると思いますか。 ・避難訓練 ・交通教室 ・安全点検（月1） ・給食指導弁当の日	3.5	3.2	3.3	○ 避難訓練・交通教室は計画どおり実施できた。保健日より、学校保健委員会、命に関する講話、保健安全面での研修など様々な場面で生徒に情報を発信し考える場を設定することができた。 ● 全生徒に面談を行い、メールでもお知らせしたがむし歯の治療率が低いことが課題である。 ◎ 保健日よりやメールでの情報発信、個人面談での指導を粘り強く行い治療率を上げる。	○ 年度当初に命や安全に関する指導にしっかりと取り組んでいることが素晴らしい。 ○ コロナ禍でこれだけの行事を実施していることが素晴らしい。	4
		(4) 学校は、体育的活動や部活動の充実を図り、体力向上や人間力向上に努めていると思いますか。	3.3	3.3	3.1	○ 体育大会、持久走記録会などの体育的行事に生徒は真面目かつ積極的に参加することができる。部活動はギリギリの人数で活動しているがやる気と活気に溢れている。テニスコートと野球のマウンドの修理が完了した。 ● 生徒数が減少し現在の部活動を維持することが難しい。 ◎ 北浦分室と連携しながら環境整備に取り組んでいく。生徒の活動場所の除草作業は保護者と連携して行う。	○ 子どもではできない施設環境の整備に取り組んでいるのありがたいと思う。	3.3

令和3年度 延岡市立北浦中学校 【学校関係者評価書】

【4：できている 3：だいたいできている 2：あまりできていない 1：できていない】

評価項目	評価指標	質問項目	職員	生徒	保護者	結果の考察・分析及び改善策等 (○：成果、●：課題、◎：改善策)	学校評議員コメント	評価
Ⅲ 道徳教育・ 人権教育に関する こと	の3 北浦中学校では、 「道徳教育や人権 教育」	(1) 学校は、道徳性 (思いやり・公德 心・協調性)を備え た生徒の育成に努め ていると思います か。	3.5	3.1	2.9	○ 道徳性を高めるために日々の授業や講師を招いての講話を行うことができた。道徳の授業は担任と副担任が協力して交代で行っている。 ● 自分に甘く周囲に厳しい発言が多く見られることが課題である。 ◎ 特効薬は無いので、日々の実践を根気強く積み重ね生徒の道徳性を向上させていく。	○ 日々の実践を積み重ねて自分で正しい判断を行い、行動できる生徒を育てて欲しい。	3.7
		(2) 学校は、集会で の講話、外部講師に よる講話、読書活動 の充実など心を豊か にする活動を行って いると思いますか。	3.5	3.2	3.3	○ 読書量は推進委員の協力のおかげでかなり伸びている。外部人材を活用しての講話は積極的に行うことができた。 ● 生徒の読書に対する興味関心が低いことが課題である。 ◎ 受動的な情報収集ではなく、読書などの心を豊かにする積極的な情報収集を推奨する。	○ 漫画でも良いので、興味をもつ本に巡り会う機会を増やして欲しい。	3.7
		(3) 学校は、いじめ の防止、お互いの人 権を尊重する教育活 動に取り組んでいる と思いますか。 ・教育相談 ・いじめアンケート	3.6	3.2	3.2	○ 教育相談は学期1回、いじめアンケートは月1回を計画的に実施できた。生徒間で大きなトラブルは無く小さなトラブルの内に解決することができた。 ● 人を傷つける心ない発言が聞かれることが課題である。 ◎ 人権週間に放送による読み聞かせを行うなど、人権に関する取組を増やす。	○ いじめの無い学校を目指して頑張りたい。	3.7
Ⅳ 保護者や地域と の連携に 関すること	4 北浦中学校では、 保護者や地域と 連携し、学校の活 動が分かるように 努力しているか。	(1) 学校だより・学 級通信・安心安全 メール・ホームペー ジなどを通して学校 の情報が、保護者や 地域に積極的に発信 されていると思いま すか。	3.7	3.2	3.2	○ メール加入率が100%になり様々な連絡が容易になった。HPの閲覧数が増え、関心の高さが伺える。 ● 特に紙媒体で発信した情報が保護者に伝わりにくいことが課題である。 ◎ 保護者と連携して、メールでお知らせしながらプリントを見せる習慣の定着を図る必要がある。	○ 情報発信は忙しい中しっかりと行っている。新聞等でも活躍の様子が伝わってくる。	4.0
		(2) 学校は、保護者 や地域と連携して教 育活動を行っている と思いますか。 ・はげまし隊 ・学校協力隊 ・地域の活動	3.5	3.4	3.1	○ コロナ禍で十分な連携はできなかったが、PTA三役を中心に奉仕作業、行事への協力などの活動を行った。校納金と給食費の集金方法改善も行っている。 ● コロナ禍であいまいになった連携の流れを再確認する必要がある。 ◎ コミスクへの移行も含め連携を強化していく。	○ コロナ禍の中、できる限りの活動をしていると思う。 ○ PTA予算確保を目的として空き缶回収を行うことを検討しては？	3.7